

日本糖尿病眼学会研究奨励賞

1. 目的

本奨励賞は糖尿病という全身疾患に伴う眼領域における病態・治療に関する研究を支援することが目的である。病態の身体的・社会的影響を解明し、Quality of Vision、ひいては Quality of Life の維持・向上につなぐための研究成果を全世界に向けて発信することを支援する。

2. テーマ

糖尿病に関する眼科・内科の両方の領域にまたがるテーマを奨励し、原則として眼科・内科のコラボレーションとなる研究が望ましい。基礎・疫学・診断および治療・その他の研究が含まれる。網膜症のみならず、その他の眼病態が含まれる。単施設・多施設研究を問わない。

3. 研究代表者

研究代表者は応募時には制限なく広く公募するが、採択時には日本糖尿病眼学会の会員となることを求められる。代表責任者を複数名設定することは可能である。各施設において臨床研究あるいは基礎研究に関する承認等を得ることを前提とする。

4. 応募方法

1次選考はアイディアの提示を重視し、各項目(タイトル、作業仮説、新規性・独創性、医学的・社会的インパクト)を簡潔に記載した応募フォームとする。コラボレーション先のマッチングを希望する場合はその旨記載すること。

2次選考に残った研究課題に関しては、詳しい研究計画を作成し、再度提出すること。

応募フォームは日本糖尿病眼学会ホームページより入手し、事務局宛てに電子応募すること。

5. 選考方法

2段階選考とする。1次選考に残った研究課題に対し、2次選考で詳細に審査し、受賞課題を決定する。

評価方法は科研費審査に準じて、点数化し、最終的に選考委員による合議で受賞課題を決定する。

受賞課題数は、年に1～数件程度とし、年度毎に選考委員会で決定する。

6. 選考委員

日本糖尿病眼学会常務理事で構成する。研究分野によっては必要に応じて理事の中から委員を追加することがある。

7. 募集期間

第1回は2023年10月ごろに募集し、年内の採否決定を予定する。

8. 副賞

1研究あたり、採択時に30万円、論文受理時に最大250万円までの追加支援を行う(詳細後述)。研究代表者が複数の場合でも1研究に対する支援となる。

9. 受賞後の発表義務

毎年の日本糖尿病眼学会総会において進捗を発表すること、および最終的に英文論文を発表することを義務付ける。英文論文の発表編数には制限を設けない。発表義務不履行の場合は、支援金の返還を求めることがある。

10. 受賞後の研究支援

8の学会発表によっては途中の追加資金支援を随時検討するが、必ず支援されるとは限らない。最終的に英文論文を発表した際には、最大限に優れた論文を期待することから、論文ジャーナルのインパクトファクターに基づいて、1研究あたり最大250万円までの追加支援を行う。使用用途には制限を設けない。なお、この追加支援は糖尿病という全身状態での眼病態に関する持続的研究への本学会としての期待を含むものである。

研究に関する問い合わせ先

日本糖尿病眼学会 事務局

jsod@jtbcom.co.jp